

令和7年度 第三者評価 評価結果

墨田区立第三吾孺小学校

令和7年12月10日実施

評定:【A+】模範的、【A】優れている、【B】よい、【C】おおむね満足、【D】要改善

	評価者A	評価者B
大項目1 各教科等の状況	A	A
中項目1-1 授業等の状況	A	A
小項目1-1-1 各教科等の授業の状況	A	B
小項目1-1-2 教育課程等の状況	A	A
中項目1-2 特別支援教育の状況	A	B
中項目1-3 進路指導の状況	A	A

コメント

・「学習活動案」は学校の方針を受け、「ねらい」の記述に工夫が見られます。「ねらい」は板書・掲示するなど、授業時間中はいつでも意識できるようにしておいた方がよい。

・どの教室も基本的な掲示物(月の目標等)がきちんと掲示され、廊下の掲示も学習環境を整える成果を上げている。教室内は一部「雑然」を感じさせる部分もあった。教員の事務机回りも含め、黒板付近の整理整頓をし、児童の学習意欲の阻害とならない教室環境づくりに努めたい。

・教室の掲示は1クラスで「満点」の評価である。壁面の活用は「学級らしさ」の創造に効果的です。華美を競うことはないが、子供の自発的な発想を取り入れ、「自主的な」教室づくりを目指すと良い。

評定:【A+】模範的、【A】優れている、【B】よい、【C】おおむね満足、【D】要改善

	評価者A	評価者B
大項目2 児童・生徒の状況	A	A
中項目2-1 生徒指導等の状況	A	A
小項目2-1-1 生徒指導の状況	A	B
小項目2-1-2 保健管理の状況	A	A
中項目2-2 児童・生徒の人格的発達の状況	A	A
中項目2-3 安全管理の状況	A	A
中項目2-4 学校に対する児童・生徒・保護者の意見・要望等の状況	A	A

コメント

・多くの児童の表情にすがすがしさを感じた。良い雰囲気の中でのびのびと活動している様子に、安心・安全な学校(学級)づくりが進んでいることが伺えた。

・個々に取り組む場面では、一人一人が主体的に取り組んでいた。グループ別の座席にした学級が多かったが、グループ活動に適した学習内容(話し合い・助け合い等)に合ったものかどうかは、適宜検討する必要があると考える。

・学習室「みどり」の取組は、不登校対策だけでなく、特別の配慮・支援を要する児童にとっても素晴らしい対応である。更なる充実を目指してほしい。

・安全管理、いじめ対策等、生活指導の充実を感じた。

評定:【A+】模範的、【A】優れている、【B】よい、【C】おおむね満足、【D】要改善

	評価者A	評価者B
大項目3 学校の管理運営の状況	A	A
中項目3-1 組織運営等の状況	A	A
小項目3-1-1 組織運営の状況	A+	A
小項目3-1-2 教職員の意欲・資質及びその向上に向けた取組状況	A	B
中項目3-2 教育目標と学校評価の状況	A	A
小項目3-2-1 教育目標の設定と自己評価の実施状況	A	A
小項目3-2-2 学校関係者評価等の実施状況	A	A
中項目3-3 設置者と学校の取組の状況	A	A
小項目3-3-1 設置者と学校の連携の状況	A	A
小項目3-3-2 施設・設備の状況	A	A

コメント

・校長先生の先駆的な取組構想に対して、管理職・主幹教諭層及びPTAの理解・支持が進み、先進的な改革が着々と進められている点は高く評価できる。

・宿題・通知表廃止等については、一部教職員・保護者の理解が十分でない点もあるようだが、保護者等の理解を得る取組に努めていただきたい。その際、「不易と流行」と言いますが、「不易」を大切にしたいという気持への配慮が必要となる場合があると思われる。

・「こどもまんなか社会」の創造には学校の役割が大きいと思うので、「子どもが主語になる学校」づくりは、素晴らしい先行事例になる。

評定:【A+】模範的、【A】優れている、【B】よい、【C】おおむね満足、【D】要改善

	評価者A	評価者B
大項目4 学校・家庭・地域の連携協力の状況	A	A
中項目4-1 学校に関する情報公開の状況	A	A
中項目4-2 学校と保護者・地域住民等との連携協力の状況	A	A

コメント

・PTA活動への保護者の理解があり、地域との結び付きも良好の様子に安心した。会長さんが「民泊」の問題点を把握され、会長さんからそのお話のあった日に墨田区の条例制定のニュースが流れ、PTAの存在の大きさを感じた。

・協力的な町会が存在し、学校運営協議会の今後の活動に期待がかかる。

・「キャリア教育特別授業」の講師を依頼しての取組は良い。地域人材の積極的な探索・協力依頼は「地域の中の学校」づくりに役立つ。

・地域行事への児童の積極的な参画は、学校が目指す「自主性の伸長」の成果の一つと思われます。

・学校の取組を、学校ホームページなどを使って情報発信していることは評価できる。全ての人に取組の目的や意図が正しく伝わるよう、繰り返し分かりやすくするなど、より一層の工夫が求められる。

学校の総合的な状況

コメント

- ・「こどもまんなか社会」の実現を目指した施策が進み、墨田区においても「すみだ区こども条例」が制定される中、その趣旨を学校経営案に活かし、先進的取組を進める校長先生の先見性・独創性に敬意を表する。
- ・校内や保護者の理解が十分深まっていない点もあるようだが、学校経営を支える教員やPTA会長等、支持者は多く、実績もあげているので、礎をしっかりと固めてほしいと思う。ただし、「不易と流行」という言葉があるように、「不易」の良さを失うことのないよう、また、そのような点での誤解を抱かせることのないよう、少数者の意見にも関心向け、丁寧実践していただきたい。
- ・学力についても、これから生きていくための力を見据えて指導をしていくことは、大切である。合わせて、基礎的・基本的な知識や技能についても児童が確実に身に付けていけるよう、授業のみならず、家庭学習の取組も含め、引き続き、検討が必要である。
- ・児童の表情が澄み、温かな雰囲気で覆われている点は前回訪問した際と変わりなく、管理職や主幹教諭をはじめ、教職員が一丸となって「誇りに思える学校」づくりに尽力されている様子が随所で感じ取れた。
- ・学習教室「みどり」の一層の充実にも期待する。